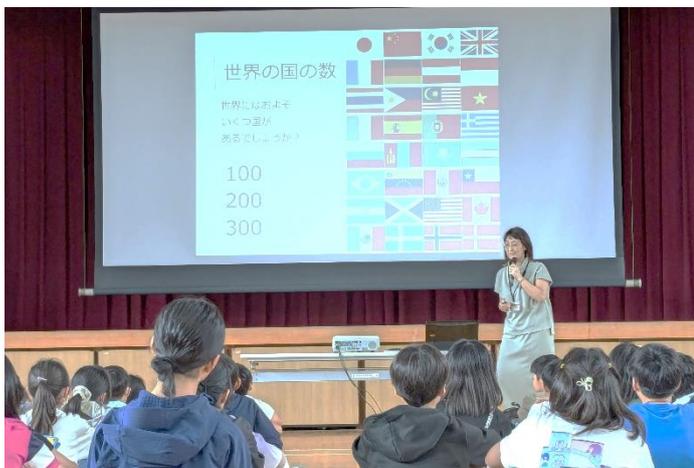


多文化共生出前講座



6月18日(火)広峰小学校で、多文化共生出前講座を実施しました。参加したのは、5年生の児童113名です。多文化共生マネージャーの資格を持つ財団職員が講師を務めました。

世界にはいくつの国がある？日本にはどれくらいの外国人が住んでいる？外国人はどうして日本に来た？講師の質問に、たくさん挙手して考えを発表していくうちに、外国人が日本で暮らす時にいろいろな問題に直面することにも思い至ります。外国人が日本で暮らす時に対面する「3つの壁」(ことば・文化の壁、制度の壁、こころの壁)を、柔軟な心で自然に導き出せた想像力や、考えを自分の言葉で伝えようとする積極性が素晴らしかったと思います。

最後に、外国人にとって分かりやすい日本語「やさしい日本語」にもチャレンジしました。どんなふうに工夫をすれば伝わりやすいか、ポイントを伝えると、児童の皆さんはいろいろと考えて、一生懸命メモを取って、自分なりの答えを書いてくれました。

今回の講座を通して、児童の皆さんに多文化共生の考えをお伝えできたことで、私たち日本人にとって当たり前のことが、外国人にとっては当たり前ではなく、みんな、日本のことばや文化、制度を少しずつ知りながら、生活していることを知ってもらえたと思います。

講座の会場となった体育館には、広峰っ子について、素晴らしい書が掲示されていました。

ひととやさしくふれあう子 (磨かれた人権感覚)
ろうりよくおしまず助け合う子 (豊かな心)
みらいを見つめ学び合う子 (確かな学力)
ねばり強くがんばる子 (健やかな体)
(広峰小学校ホームページから引用)



これから国際化が加速する日本社会で、広峰っ子の皆さんが本領を発揮し、多文化共生の実現の一助となっただけだと幸いです。